

# 医会ニュース

発行人 吉田英機

編集 細部高英

発行所 〒140-0004 品川区南品川3-6-51 小川クリニック内

東京泌尿器科医会 TEL 03-5460-1188 FAX 03-5460-1195

## 主な記事

東京泌尿器科医会会長 新年のご挨拶 1

東京泌尿器科医会役員のご挨拶 2 / 日本臨床泌尿器科医会だより 5

Office Urology 6 / 新規開業紹介 7 / 隠れ家紹介 / 編集後記 8



## 新年のご挨拶

東京泌尿器科医会会長 吉田英機

平成26年の新春を迎え、この新しい一年間の会員皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

本年は二年に一度の診療報酬改定が行われま

すが、昨年末の大臣折衝では0.1%の増加という事ですがこれでは4月に行われます8%への消費税増税分は含まれませんので結果的に予算削減となりました。平成24年改定では医療費

の財源が4,800億円でしたので当時の中医協では外科系、特に難易度の高い手術の点数増額に使われましたが、今回はほとんど増加は期待されずむしろマイナス改定となりそうです。私も過去約10年間この医療費改定の中核にいましたが、霞が関では小泉政権時代の2,200億円の医療費削減政策を直接経験しておりその当時多少の医療費削減を受けても「個人開業医さんは自家努力で乗り切ってきましたから大丈夫ですよ」という固定観念を持っていますので、昨年7月中核から離れた私としてはなんととも解説のしようがありません。2020年の東京オリンピックが決定し、それまでは景気の回復が期待されますので今後の動向を見守るしかないのかなとも思います。4月になれば日本泌尿器科学会の保険委員長齋藤先生からその辺の様子がうかがえると思います。

医療界にとって暗い一年となりそうですが皆様それぞれ賢く対応されることと期待いたします。「悪い年を」なんて言えませんので会員の皆様の賢明な努力によりこの苦難な一年を乗り切られることを祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭にあたって

副会長 長倉和彦

新年明けましておめでとうございます。昨年は景気も少しずつ上向きになり、2020年の東京オリンピックも決まって、日本が何となく元気になっているように感じます。2011年3月の大災害から立ち上がって頑張っている人々にも、良い影響があるのではと思います。今年も明るい一年となることを祈りたいと思います。

日本では世界でも例の無い高齢化が進んでいます。これ自体は避けることが出来ません。日本の医療費は世界の先進国の中では高くはありませんが、これからを考えれば、政府としても決して贅沢はできないと考えるのは無理からぬことでしょう。私たち臨床医は、その限られた資源の中で最高の医療を提供するという責務を負っています。さまざまな制約がある中で、互いに切磋琢磨してこの難局に立ち向かっていなくてはならないと思います。

東京泌尿器科医会は、活動の骨子である臨床泌尿器科医に必要な情報の提供をこれからも続けたいと思います。特に若い泌尿器科医師が、学問としての臨床医学の習得だけでなく、医療に与えられる資源がどのように決められ、どのような仕組みで分け与えられるのか、一緒に学ぶ機会を持てるよう活動の輪を広げられたらと

### 第38回 東京泌尿器科医会学術集会・総会のお知らせ

日時：平成26年2月22日(土) 17:15～19:30

場所：京王プラザホテル 本館4階「錦」の間

1. 講演 『中枢疾患と排尿障害』

東邦大学医療センター佐倉病院内科学神経内科 准教授 榊原隆次先生

2. 総会

3. 特別講演 『腎細胞癌の薬物治療：どこから来てどこへ行くのか？』

慶応義塾大学医学部泌尿器科 教授 大家基嗣先生

4. 保険診療のQ & A

日本大学医学部泌尿器科 准教授 山口健哉先生

考えます。医会としての活動には皆さんのご協力が不可欠ですので、よろしく願いいたします。また、お知り合いに若い泌尿器科医がおられましたら、是非入会していただくようお勧め下さると幸いです。

会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

## 新年のご挨拶

副会長 長谷川 潤

あけましておめでとうございます。今年も昨年と同様とても寒いお正月となりましたが、皆様にはお元気で新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年末から年明けにかけて私たちの周辺は慌ただしくなっています。昨年は社会保障と税の一体改革が動きだし、昨年末には社会保障の改革スケジュールを定めたプログラム法が成立して、本年は様々な改革が具体化して行く重要な年となりそうです。また、特定秘密保護法も成立しました。特定秘密保護法は私たち医師には直接関係なさそうに思いますが、特定秘密に携わる人は様々な面で調査され、病歴も調査の対象となり、医療機関も照会事項に対する回答義務が課せられるとのことで、医師法における患者情報の守秘義務が突き破られる可能性があるということです。そしてこれから始まる通常国会では医療法の改正により、「医療安全と再発予防」より「責任追及」に重点をおいた医療

事故調査制度が創設されるとの予測もあります。消費税増税分を差し引くと実質1.26%のマイナスが予想されている本年の診療報酬改定だけでなく、様々なことに目を向けなければならない一年になりそうです。

さて、東京泌尿器科医会は昨年会員の増加を最重要課題の一つとして、若手泌尿器科医のための保険診療の講習会を開催しました。残念ながらこの講習会によって多数の若い先生方が一挙に入会というわけにはいきませんでした。本会の存在をアピールする良い機会となったものと思います。本年も吉田会長の下、諸先生方のお力添えをいただき、地道に会員増加に努めて行きたいと存じます。会員の先生方には本年がご多幸な一年でありますよう祈念いたします。

## 年頭のご挨拶

総務担当 小川 肇

明けましておめでとうございます。

旧年中は東京泌尿器科医会に御厚情をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

富士山の世界文化遺産登録、楽天イーグルスの大躍進、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定などわくわくするような嬉しい出来事があった2013年も、年末になって某医療法人グループと都知事の事件が毎日うる





過活動膀胱治療剤(コハク酸ソリフェナシン錠) 【薬価標準収載】

**ベシケア<sup>®</sup> OD錠 2.5mg/5mg**

処方せん医薬品  
(注意・説明等の処方せんによる使用すること)

**Vesicare**

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 **アステラス製薬株式会社**  
東京都板橋区蓮根3-17-1  
【資料請求先】本社/東京都中央区日本橋本町2-5-1

2013/04作成 A41/4 A.01

さく報道されています。その影に隠れています。2014年は診療報酬の改定年です。自民党政権に戻って診療報酬はどうなるのだろうと思っていましたが、大方の見方通り6年ぶりのマイナス改訂（診療報酬は0.1%増。ただし消費税増税分を除くと実質マイナス改訂）になるようです。大病院では大黒字が続いているようですが、新しく70歳になる患者の窓口負担が2割になることもあり開業医は身の締まる思いで新年を迎えることになるようです。

東京泌尿器科医会の目的は泌尿器科医を守り、正当な泌尿器科医療環境の改善向上に務めることです。年二回の学術集会、年三回刊行される医会ニュースを通じ、学会では取り上げにくい課題、中でも診療報酬請求に重きを置いて活動しています。そんな中2013年は前号の医会ニュースで御報告したように新事業として若い泌尿器科医師を対象とした保険診療講習会をスタートさせました。折角の機会ですが参加者がやや少なく残念でしたが、2014年から対象医師、開催日などを再度検討し続けてゆきたいと考えています。

厚生労働省の発表によると2012年末で我が国の医師数が30万人を突破したそうです。その内主たる診療科が泌尿器科の医師が6754名（2.3%）、病院勤務医が4974名、診療所勤務医が1780名。複数回答できる診療科に泌尿器科と回答した医師が8487名（2.9%）。しかし別の統計で同時点での診療報酬（社保）総額に対する泌尿器科の比率が2.0%をわずかに下回っています。つまり泌尿器科医が請求する診療報

酬は医師全体から見て少ないようです。泌尿器科医の収入増加のために医会活動が不可欠と考えます。東京泌尿器科医会も発足して19年目に入りました。来年は20周年を迎えます。一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 新会計部長挨拶

会計担当 遠坂 顕

この度、前任の黒田俊先生からの引き継ぎで、会計担当の責任者となりました遠坂です。今後は、私と山本史郎先生の二人で会計関係の仕事をさせていただきます。

現在、黒田先生のお力により、東京泌尿器科医会の口座はインターネットバンキングでの取引が可能となっており、昨年かなり苦労はしましたが口座責任者の名義を黒田先生から私に変更いたしました。その結果、ほぼすべての会計業務を私の自宅のパソコンで行うことができるようになりました。主な仕事は、医会関係の経費の振り込み、年会費振り込み者の確認、会計報告などとなっています。

経費の振り込みは、総務の小川先生のお力添えもありほぼ滞りなく済んでいます。年会費振り込み者の確認は自由企画の方にも手伝っていただいておりますが、これが意外と大変です。先日も、ある振り込み元の名義を確認しようと銀行に電話をしたら、登録されている私の自宅に直接電話をして私が出ないと知らせられな

LH-RH 誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 薬価基準収載  
劇薬、処方せん医薬品<sup>※</sup> 注）注意—医師等の処方せんにより使用すること

**リュプリン** 注射用キット 1.88・3.75  
**リュプリンSR** 注射用キット 11.25  
（注射用リュプロレリン酢酸塩）

**GOOD DESIGN AWARD 2013** **GOOD PACKAGING**  
2013年日本パッケージングコンテスト  
 『医薬品・医療品包装部門賞』受賞



効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

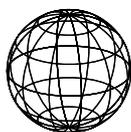
[資料請求先]  
**武田薬品工業株式会社**  
医薬営業本部 東京都中央区日本橋二丁目12番10号 〒103-8668

いと言われました。銀行が空いている時間に自宅にすることが少ないのでクリニックに電話してくれと頼んだのですが、登録されていないのでできないと言われました。登録を追加するにはまた銀行に行かないといけませんが、銀行の要求することは大概行ってみないとわかりません。というわけで皆様、振り込みの際には「病院名+お名前」をお願いいたします。

会計報告はこれからですがこれも総務の小川

先生と自由企画の方のお力添えで何とか乗り切れるのではないかと考えています。小川先生、佐藤さんよろしくお願ひいたします。

また今後は黒田先生時代からの課題でもあります当会の法人化についても対応していかなければなりません。その際には、再び銀行口座の開設など面倒な業務が待っているかと思ひます。皆様のご協力も必要になると思ひますのでよろしくお願ひ申し上げます。



## 日本臨床泌尿器科医会だより



### 第10回 臨床検討会開催

2013年11月3日(日)に第10回臨床検討会(会長: 蓑田国廣、医療法人十全会みのだ泌尿器科医院院長)が宮崎市内のシーガイアコンベンションセンターで開催されました。(日本臨床泌尿器科医会、アステラス製薬株式会社共催)

15題の一般演題の後、今回は特別講演が2題あり、特別講演1は賀本敏行先生(宮崎大学医学部外科系講座泌尿器科教授)による「前立腺癌アンドロゲン除去療法における「テストステロン値」を考える」。LH-RHアゴニスト、アンタゴニスト更に今後発売が予定されている抗癌剤についてわかりやすく解説いただいた。特別講演2は内藤誠二先生(九州大学大学院医学

研究院泌尿器科分野教授)による「日本泌尿器科学会の動向とSIU開催秘話」。商店街を借り切ったのウエルカムパーティーや皇太子殿下ご臨席に関する秘話の披露があった。

臨床検討会翌日は広島、富山に続いて恒例となったバスツアー。青島神社、鶴戸神宮を参拝、宮崎観光ホテルでの豪華な昼食を楽しみました。

2014年の第11回臨床検討会は11月2日(日)に仙台で開催することが決まり、復興最中の被災地へのバスツアーも計画されそうです。詳細、申し込みは日本臨床泌尿器科医会のHPをチェック願ひます。(文責: 小川 肇)

抗血小板剤

シロスタゾール口腔内崩壊錠

薬価基準収載

**プレタール® OD錠50mg・100mg**

**Pletaal® OD tablets 50mg・100mg**

◇効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



製造販売元  
**大塚製薬株式会社**  
東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先  
大塚製薬株式会社 医薬情報センター  
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

(12.07作成)

## Office Urology

その15

## 往診について

仲田クリニック 仲田 浄治郎

私は、主に泌尿器科、内科で診療しております。今回は往診について述べてみたいと思います。

開業して14年目を迎えることになりました。78歳の患者さんが、そのまま通院していると90歳位になってきます。私も年をとってきますが、患者さんも年をとるのです。病床を持っていない開業医が往診をどの程度できるのでしょうか。

一つは、在宅療養支援診療所で、往診を専門にしているケースです。月2回以上の定期的な訪問診療で、さらに緊急の時は24時間年中無休で往診をします。寝たきりや障害ありいは末期ガンの方を主に診療します。

当院でも、高血圧、前立腺肥大症、糖尿病の基礎疾患があり、さらに脳梗塞が発症したために通院が困難になった高齢患者がいました。夏の暑い時に熱中症になり、週3回位、診療を終えた後に点滴に行っていたのですが、点滴を終えると夜9時、私の帰宅が10時を過ぎ、患者の家族がむしろ私を気の毒がり、往診専門の先生に依頼したケースもあります。10年以上の経過をみていた患者さんの診療を断念するのは、つらいのですが仕方ありません。

もう一つは、診療所で、日常の外来診療をしても、緊急での往診や尿道カテーテルの交換で定期的に訪問診療をすることはできます。私の診療所では、木曜日を休診日にしているので、その日を訪問診療にあてています。

この1か月間の往診内容を見てみますと、合計では、7名往診しており、年齢では87~97歳、平均90.6歳でとても高齢です。その内訳

は、特別養護老人ホーム入所者3名、在宅者4名です。

特別養護老人ホームには、老人ホーム担当の近医の内科医師より依頼があり、10年位、続けておりますが、2~3週間に1回行っております。約100名が入所しており、現在は、3名の尿道カテーテル交換をしております。神経因性膀胱による尿閉や、時には褥瘡がひどくやむなくカテーテルを留置する場合があります。

在宅患者も、やはり2~3週間の間隔で往診しております。前立腺がん骨転移で長時間歩行困難な症例、高血圧と膝関節炎があり通院が困難な患者さん、97歳と高齢で寝たきりの患者さん、パーキンソン病で尿閉がありカテーテル交換している患者さんです。

このパーキンソン病で尿道カテーテル交換している患者さんは、3年前から往診を続けております。元々は、在宅療養支援診療所でカテーテル交換をしていたのですが、ある時、車いすで当院に受診してきました。カテーテルが詰まっていたのか、仮性尿道になっていたのか痛みが強く、「死んだほうがまだ」と言ってきたのです。チーマンバルーンを挿入し、その後、安定してから親水性銀カテーテルにして経過をみております。車いすで奥さんが押して来院していたのですが、地図をみると2km位あります。歩道とはいえ段差もあります。車いすに乗る方も押す方も大変です。老々介護の限界と思い、往診することにしました。往診でカテーテルのセットを持ち歩き、暑い夏、寒い冬、雨の時など厳しい時もあります。でも患者さんは、私の往診を待っております。体力、気力の続かぎり継続したいと思います。

ちなみに診療報酬は、在宅患者訪問診療料で830点、老人ホームでは、1か所で3名なので、一人につき400点で請求しております。

今回は、一部、重なりますが往診および通院での尿道カテーテルの交換や自己導尿患者について述べてみたいと思います。

## 新規開業紹介

### きつかわクリニック

吉川慎一 先生

平成 25 年 8 月 1 日、JR 山手線田町駅西口すぐの YCC 田町ビル 4 階で泌尿器科・内科クリニックを開院いたしました。在宅診療にも対応しております。よろしくお申し上げます。

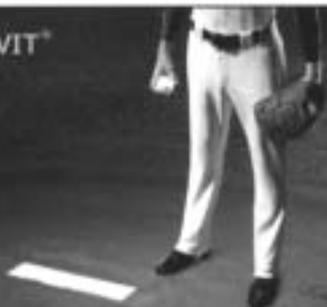


平成 7 年に東京医科大学を卒業し、同大学泌尿器科医局に入局。同大学院に所属し大塚の癌研究会附属病院などへの出向を経て医学博士を頂きました。平成 12 年度より助教として同教室に勤務し、八王子や茨城県の関連病院への出向ふくめて平成 20 年 12 月まで約 13 年間で大学人として研鑽させていただきました。平成 21 年 1 月からは有明がん研病院泌尿器科で約 4 年半間勤務させていただきました。前立腺がんを中心とする癌患者さんの手術、放射線治療、緩和医療などを担当させていただきました。開業の地は、研修医時代から住み慣れた田町なのですが出身大学からも、最終勤務地のがん研有明からも近くて遠い場所でまさに落下傘開業で、地域での認知度はまだまだ低い状態です。開院して 6 か月

になりますが、当初は 50 80 歳台の患者さまが主体と予想しておりましたが、実際は 30 50 歳台の患者さまが多く場所柄を感じている次第です。開院当初は難しかったのですが、漸く年末に局所麻酔による前立腺立体生検（経会陰 + 経直腸）を 2 名の患者さまにお受けいただく事ができ、何とか自分の経験をいかせた医療が出来たかと思っております。また、超音波診断装置（経腹部、経直腸）、デジタルレントゲン、軟性膀胱鏡、尿流測定装置、干渉低周波治療装置などの限られた設備ではありますが、泌尿器科疾患の早期発見、治療に努めたいと思います。在宅診療においては、尿閉の患者さまに在宅自己導尿を導入し、ほぼ自排尿可能なまでに回復した患者さまを経験したり、定期的な膀胱瘻の交換・管理などをさせて頂いている状況で、積極的な対応を継続していきたいと考えております。今後も泌尿器科の診療を通じて、地域の方々のためにお役に立てるように診療することと共に、周辺大病院の先生方とも密に連絡を取り、当院で診断した患者さまの治療を依頼し、術後は再度当クリニックでの経過観察を依頼されるような医療連携が構築できるように努力していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、新規開業紹介の場を頂き、誠にありがとうございました。今後とも何かとご迷惑をおかけすると思っておりますが、よろしくお願い申し上げます。

GRACEVIT®



広範囲経口抗菌製剤 処方せん医薬品\*



**グレースビット®**

錠 50mg・細粒 10%

GRACEVIT® (一般名:シタフロキサシン水和物)

\*注意—医師等の処方せんにより使用すること 薬価基準収載

★その他の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)



**第一三共株式会社**

Daiichi-Sankyo

東京都中央区日本橋本町3-5-1

2013年7月作成

## 隠れ家 紹介

### 薩摩 牛の蔵 赤坂店

赤坂は都内でも有数の韓国料理・焼肉のお店が多い地区ですが、ここは一味違った日本風（薩摩風）焼肉の店です。お肉はすべて鹿児島から直送で届いています。生産者も限定されていて、店の方から「今日は さんが育てた牛のお肉です。」と紹介があります。特徴はお肉にたれが付け込んでありませんので、お好みで塩・たれ・ポン酢など自分の好みに合わせて食べられます。肉の質はいろいろ食べてきましたが、コストパフォーマンスは申し分ありません。韓国料理の辛みや独特の味付けではなく、純粋にお肉の部位による違いを味わうのには最高のお店です。全館個室ですのでほかのお客様に気兼ねなくお肉を楽しむことができます。飲み物は薩摩を意識して芋焼酎の種類が豊富ですが、私の好みはみぞれ日本酒と言ってシャーベット状になっていて半分凍結したものです。焼肉の甘い油とキリリと冷えた日本酒がよく合います。

私は家族で行くことが多いのですが、まずオイキムチ・肉味噌キャベツ・センマイ湯引きなどを食べ赤身3点盛を注文します。希少部位もあり時々のおすすめを食べて、しめにビビン麺などを頂いても3人で1.5万円以下のことがほとんどです。当然このホルモンもおいしく六



臓盛りなどもお勧めですが、家族があまり食べないので赤身中心になってしまいます。

場所は赤坂5丁目交番の向かいのビルの地下です。ご友人と一緒にでもご家族連れでもお勧めです。人気店ですので予約をお勧めします。あまり隠れ家的ではありませんが、入り口がまさに隠れ家です。 (田中 徹)

### 薩摩 牛の蔵 赤坂店

<http://r.gnavi.co.jp/a755001/>

電話 03-5573-9062

### 編集後記

2013年もいろいろありましたが、最後に東京都政で大きな動きがありました。攻めることが得意な人ほど自分に非がある時の行動が問われると思います。患者さん・従業員・家族・友人などに謝るべき時が来たら、できるだけ素直に真摯に誤魔化しのない行動をとるようにしたいと思いました。自分にとって大きな戒めとなりました。(T.T.)

### 賛助会員

旭化成ファーマ株式会社 / あすか製薬株式会社 / アステラス製薬株式会社 / アストラゼネカ株式会社 / エーザイ株式会社 / 大塚製薬株式会社 / 小野薬品工業株式会社 / 科研製薬株式会社 / キッセイ薬品工業株式会社 / 杏林製薬株式会社 / グラクソ・スミスクライン株式会社 / シェリング・プラウ株式会社 / 塩野義製薬株式会社 / 大鵬薬品工業株式会社 / 武田薬品工業株式会社 / 第一三共株式会社 / 中外製薬株式会社 / 株式会社ツムラ / 帝人ファーマ株式会社 / 日本新薬株式会社 / 日本化薬株式会社 / ファイザー株式会社 / 扶桑薬品工業株式会社

(50音順)